

やまぐち 市議会だより



大きく育て 希望あふれる未来へ



臨時会・定例会ピックアップ	2
議案の審議結果	5
委員会 ア・ラ・カルト	6
市長に聞きたい!	8
議会からのお知らせ	14

新たなまちづくり **始動**

市議会も新体制で課題に挑む

7月に山口市産業交流拠点施設「KDDI 維新ホール」がグランドオープンするとともに、山口県央連携都市圏域で開催される「山口ゆめ回廊博覧会」も始まりました。新山口駅を交流の核として、にぎわいの創出や交流人口の拡大が期待されます。

市議会も4月に臨時会を開催し、新たに議長・副議長を選出。新体制のもと議員34人が一丸となって本市の発展に取り組んでいきます。

駅構内の博覧会案内サイン



チエーンソーアートによる「ゆめの宝船」



山口ゆめ回廊博覧会オープニングイベント「こんにちは、ゆめはく！」(7月3日)

平素より市議会の活動に対しご理解・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

現在、新型コロナウイルス感染症の拡大により、市民の皆様をはじめ、全市の事業主の皆様には、新しい生活様式の定着に向けた取組をお願いしているところです。

このような時こそ、議会は市民に寄り添い、行政と協力しながら安心して暮らせるまちづくりを推進していくかなければならないと痛感いたしております。

市民の皆様のお託しに答えられる市議会を目指すとともに、政策条例の立案、審議会など市政への女性の参画につきましても、引き続き取り組んでまいり所存でございますので、今後とも、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。



議長 伊藤 斉

4月臨時会

2021年
4/26

上程された議案

予算

1件

事件議決

4件



副議長 村上 満典

このたび、副議長という大任を拝し、身の引き締まる思いでございます。

申し上げるまでもなく、34名の市議会議員には、それぞれの意見を互いに尊重しつつも、合議体として市民の皆様にとって最善の結論・方向性を示していかなければならない使命があると考えます。

常に、市民にとって最良の方向はどこにあるのかを考え、市議会全体として最善の結果を示し続けられますよう、その職責を全うしてまいります。

市議会に対し、厳しくも温かいご指導を心よりお願いし、副議長就任のご挨拶とさせていただきます。ごつごつよろしく願います。

社会の変化を成長につなげる

新型コロナウイルス感染症経済対策 第9弾

6月定例会

2021年
6/7~6/28

上程された議案

予算

4件

条例

7件

事件議決

32件

新型コロナウイルス感染症
経済対策第9弾など、一般会計
予算の総額を888億8,327
万円とする補正予算案など43
議案を可決、承認しました。



維新大晃アリーナ ワクチン集団接種

感染拡大の防止に向けて

ワクチン接種体制の強化

【1億6,146万円】

高齢者施設等の従事者へのPCR
検査の実施 【3,750万円】

学校活動等で県外を訪れた小・中
学生等へのPCR検査 【1,500万円】

修学旅行や部活動で県外を訪れた児童生徒、
教職員の希望者を対象にPCR検査を実施します。

指摘・要望

- 修学旅行や部活動の大会等の延期・中止により、子供たちの心が冷え切っている中、子供たちの思い出をひとつでもつくるという意気込みを感じ、賛成する。
- ワクチンの高齢者への優先接種を7月末までに終えるための体制確保に係る経費であり、接種を待ち望んでいる市民の安心・安全のため、迅速に対処されたことを評価する。



日常を取り戻しつつある小学校

第4波を乗り越えるための重点課題
予算規模 約9億5千万円

市民生活の安定

「子育て世帯生活支援
特別給付金」の給付
【2億9,241万円】

ひとり親世帯等への支援として、児童一人
につき5万円を給付します。

「新型コロナウイルス感染症生活
困窮者自立支援金」の支給
【3,393万円】

すでに貸付限度額に達するなど、
緊急小口資金等の特例貸付を利用でき
ない世帯を支援します。

指摘・要望

- 必要な世帯に一日でも早く支援が届くことを求める。

市内消費を喚起

観光関連産業応援プロジェクト
【1億3,500万円】

県が実施する『行こうよ。やまぐちプレミアムキャンペーン』
期間中、市内宿泊施設の宿泊者を対象として、特産品等を取り
扱う土産物店等で利用できるクーポン券を配布します。

コロナに負けるな! やまぐち応援マルシェ
【1,000万円】

売り上げ減少等の影響を受けている市内農林水産物生産者
への支援として販売促進イベントを実施します。

指摘・要望

- 市内の飲食業、宿泊業者の窮状が伝えられる中、いち早い施策実施が望まれる。

アフターコロナを見据えた社会の変化を成長へ

市内事業者の感染症対策・DX
への対応支援 【2億5,900万円】

市内中小企業団体における感染症対策
や、デジタル化の流れに柔軟に対応し、経営
基盤の強化や新規事業展開へつなげる取
組を支援します。

指摘・要望

- 補助対象となる団体に加入していない事業者や、地域の小規模な事業者団体等へも支援が行き届くよう検討していただきたい。
- 「具体的に何をしたらよいかわかりにくい」との声もあるため、丁寧な説明・相談によって効果的な支援となる体制整備と制度設計を求める。

くわしくは
市ウェブサイトへ



山口県内で初めて!!
市立小・中学校へ
生理用品を配備

新型コロナウイルスの感染拡大が長期化する中で経済的な理由などにより生理用品を入手することが困難な状態にある、いわゆる『生理の貧困』対策として市内約50校の小・中学校の女子トイレや保健室などに生理用のナプキンを配置しました。

5月下旬の内閣府・男女共同参画局の発表によれば、経済的な理由で生理用品が買えない『生理の貧困』への対策に関しては、全国で2555の自治体が学校などで生理用品の配布を実施または検討しているとの調査結果が公表されています。



問 無償の生理用品を利用する児童生徒のプライバシーへの配慮や、用品を気軽に手に取ることができる設置場所や方法、周知は？

答 設置場所をトイレの個室とすることや保健室等で渡す場合に他の児童生徒には気づかれないよう学校の実情に合わせて配慮する。利用方法の周知の際は、利用する児童生徒への心ない言動を慎むよう人権に配慮した指導も行う。

持続的発展へ向けた
取組を加速!!

新 過 疎 法 施 行
本年4月に施行された「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」、いわゆる新過疎法では、本市の徳地、阿東地域に加え、新たに秋穂地域が過疎地域に指定されました。

過疎地域とは、地域の人口が減ってしまうことで、その地域で暮らす人の生活水準や生産機能の維持が困難になってしまつた状態の地域をいいます。一方で、生活様式の見直しによる田舎暮らしや通信環境が整備されれば仕事ができる働き方などにより、移住者や滞在者の注目を集めている地域もあります。

今後、持続的発展が期待できる計画を策定し、個性が輝き、交流を育む安心のふるさとづくりに取り組んでいきます。



気になる動き

「多世代交流・健康増進拠点施設」整備事業のねらいは？

市は第二次山口市総合計画に基づき『住んでよし・訪れてよし』を、まちづくりの方向性として位置付け、その実現に向けた重点プロジェクトとして、湯田温泉における「多世代交流・健康増進拠点施設」の整備を進めています。

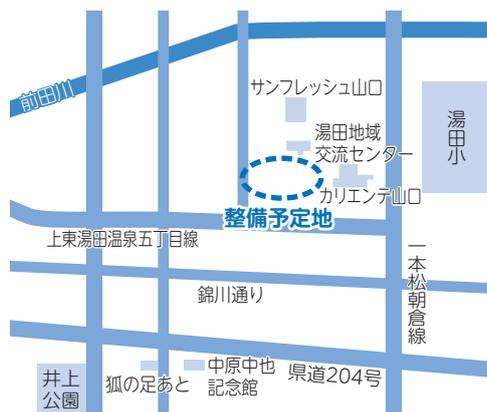
交流人口が減少する中で、既存の温浴施設の老朽化に伴い、多くの市民が日常的に湯田温泉を訪れ、温泉の恵みや様々な交流を楽しむために必要なまちの装置の一つとして、本施設を誰もが自由に使える公共空間として整備しようというものです。

まちなか温泉である湯田温泉という本市が誇る地域資源を十分に活用して、まちの発展につなげ、豊かな暮らしと交流、定住促進のまちづくりを実現して

いこうという取組ですが、今後、本格的な人口減少時代に直面するにあたり、様々な課題があるなかで、湯田温泉を単に観光客などが訪れる場としてではなく、子育て世代から高齢者までが住み続けたいと思える都市空間にすることで持続可能な山口市全体の発展につなげたいと考えています。



市内6か所にある
ゆう太ポストを探してみよう!



やまぐち市議会だより No.60

最近の「市議会だより」は、「カタカナ語・行政用語が多くわかりづらい」というご意見をいただきました。今後は、注釈や説明文を入れるなどしてわかりやすい内容となるよう努めてまいります。これからも、皆様の声をお聞かせください。

ご意見にお答え!!

議案の審議結果

4月臨時会

■全員賛成で可決した議案

予 算

- 令和3年度山口市一般会計補正予算（第2号）

慎重な審議の結果、臨時会では5議案、定例会では43議案を可決しました。



6月定例会

■全員賛成で可決した議案

予 算

- 令和3年度山口市一般会計補正予算（第4号）
3ページに関連記事あり
- 令和3年度山口市国民宿舎特別会計補正予算（第1号）
- 令和3年度山口市一般会計補正予算（第5号）
3ページに関連記事あり
- 令和3年度山口市一般会計補正予算（第6号）
3ページに関連記事あり

条 例

- 山口市税条例の一部を改正する条例
- 山口市使用料、手数料徴収条例の一部を改正する条例
- 山口市民会館設置及び管理条例の一部を改正する条例
- 山口市南部運動広場設置及び管理条例の一部を改正する条例
- 山口市阿東地域老人福祉施設設置及び管理条例を廃止する条例
- 山口市徳地地域診療所設置及び管理条例
- 新山口駅観光交流センター設置及び管理条例の一部を改正する条例

事 件 議 決

- 住居表示を実施する区域及び住居表示の方法について
- 湯田中学校管理・教室棟長寿命化改良工事の請負契約の締結について
- 消防ポンプ自動車の取得について
- 消防ポンプ自動車の取得について
- 水槽付消防ポンプ自動車の取得について
- 高規格救急自動車の取得について
- 市有財産の無償譲渡について
- 令和3年度山口市一般会計補正予算（第3号）に関する専決処分について
3ページに関連記事あり

イメージ



南消防署秋穂出張所に配備される水槽付消防ポンプ自動車

事 件 議 決

- 令和3年度山口市一般会計補正予算（第1号）に関する専決処分について
- 山口市税条例等の一部を改正する条例に関する専決処分について
- 山口市都市計画税条例の一部を改正する条例に関する専決処分について
- 固定資産評価員の選任について（敬称略）
網田 誠（新任）



市役所3階にある農業委員会事務局

- 農業委員会の委員の任命について（24件）（敬称略）

再任	荒瀬 澄枝	伊藤 良雄	井上 浩一郎
	上田 正士	小野 基之	海地 博志
	片山 瀧之	賀屋 忠之	神田 一夫
	恒富 竹司	徳田 文雄	中川 恵美子
	原田 好子	藤村 守	藤原 敏郎
	安田 敏男	安野 正純	山根 伊都子
	山根 良男	吉富 崇子	

新任	伊藤 三枝子	伊藤 良一
	重國 誠司	長尾 誠大

イメージ



南消防署阿知須出張所に配備される高規格救急自動車

イメージ



高度救命処置用資器材を搭載

山口市議会では、「総務」「教育
民生」「生活環境」「経済建設」「予
算決算」の常任委員会を設置し、
各委員会が所管する部局の議案
や業務等の審査・チェックをしてい
ます。

各委員会の所属議員、
所管する部局、日程など、
詳しくは市議会ウェブサ
イトに掲載しています。



環境への負荷を抑える
グリーン購入の取組は

生活環境
委員会

市役所は、市内の大規模事業所としての責務を果たし、市の事
業によって排出される温室効果ガスを削減するため、再生可能工
ネルギーの導入や、省エネ、省資源、ごみの減量化などの取組に
関する指針となる計画として第二次山口市エコフレンドリーオ
フィスプランを策定している。

取組のひとつとしてグリーン購入の推進を掲げており、コピー
用紙や文房具といった事務用品等について、グリーン購入の調達
方針に基づいた環境にやさしい製品を購入することとしている。

(担当部局：環境部)

これからも
しっかり取り組んで
環境負荷を
低減していくがー



COOL CHOICE
キャラクター
「選ぶがー」

※グリーン購入

購入の必要性を十分に考慮し、品質や価
格だけでなく環境や社会への影響を考え、
環境負荷ができるだけ小さい製品やサー
ビスを選んで購入すること。



ドローンを使って情報収集機能を
強化！ 今後の予定は

総務
委員会

災害の現場で上空からの映像による効果的な情報収集をするた
めに、ドローン1機を導入するとともに、職員5名のオペレーター
を養成した。これは県内初の取組で7月から運用を開始する。

引き続き、オペレーターの
計画的な増員や操作訓練によ
る技術向上を図りながら、今
年度中に2機目のドローンを
導入し、広域災害にも機動的
に対応できる体制の構築を目
指す。

(担当部局：消防本部)



ドローンの操作訓練
今年度中に12名のオペレーター
が養成される



誰もが利用しやすい
施設を目指して

教育民生
委員会

市が整備する建築物や道路等について、
誰もが利用しやすい施設となるように障が
い福祉団体等から推薦された委員から意見
を伺う山口市ユニバーサルデザイン推進検
討会を設置した。

今後、一定の規模の施設で、不特定かつ
多数の人が利用する建築物の新設または大
規模改修を行う場合や歩行者等の交通量
が多い歩道等を整備する際に、設計段階及び
施工段階において開催し、意見を伺うこと
としている。

(担当部局：健康福祉部)

委員の意見

設計、施工の各段階において
委員から伺った意見を施設の整備
になるべく反映できるよう努めて
ほしい。



農業委員への女性・青年の参画に向けたさらなる取組を

農業委員会事務局として個人への直接的な働きかけはできないが、地域や現職の農業委員・農地利用最適化推進委員に対して、地域からの推薦や立候補にあたって考慮するようお願いしている。

(担当部局：農業委員会)



農業委員会等に関する法律 第8条第7号（委員の任命）

市町村長は、委員の任命に当たっては、委員の年齢、性別等に著しい偏りが生じないように配慮しなければならない。

経済建設委員会



ため池ハザードマップを活用して命と財産を守るには

市内249か所の特定農業用ため池のうち、109か所についてハザードマップを作成し6月に公表した。

ため池の安全管理については、管理者に点検マニュアルを配付するとともに、大雨後の見回りなどの日常的な点検をお願いしている。

管理方法や老朽箇所の発見など、どんな些細なことでも市農林整備課または各総合支所農林（土木）課へ相談していただきたい。

(担当部局：経済産業部)



ため池ハザードマップ (市ウェブサイト)

問 市民への積極的な周知方法は。

答 今後、ため池管理者・自治会・地域の防災組織等にも協力いただきながら、集会の場等での周知や、地域交流センターだよりへの掲載、市公式LINEアカウントの活用など、個別の状況も確認しながら周知していくこととしている。

経済建設委員会



ワーケーションを活用し 南部エリアの魅力を発信！

雑誌等で執筆するライターを対象に、産業交流スペースMegriba（メグリバ）や各種体験施設でのワーケーションで様々な地域資源に触れて感じたことを、雑誌やウェブサイトに、各種SNS（フェイスブックやインスタグラムなど）に掲載してもらうことで南部地域の魅力を発信する。

「スポーツ体験」、「歴史文化探訪」、「農水産業体験」の3つのプログラムを用意しており、情報発信力のあるライターの感性や視点で南部地域の魅力をお伝えすることで、定住や移住を考えている人たちの掘り起しに期待している。

(担当部局：地域生活部)



Megriba(メグリバ)



船出での漁業体験

※ワーケーション

労働(ワーク)と休暇(バケーション)を合わせた造語。普段の職場とは異なる場所で余暇を楽しみながら仕事を行うこと。

委員の意見

今回は初めての試みということで各プログラムとも2名の定員ということであるが、今後の受入れ人数の拡大と、7月から開催される山口ゆめ回廊博覧会との相乗効果に期待する。

生活環境委員会



市長に聞きたい! どうなる? これからの山口市

★議員が何を質問したか読んでみましょう! ★一般質問の制限時間は質問と答弁をあわせて50分です。
★質問と答弁の映像は各議員の二次元コード  からも見られます。
※必要な場合には二次元コードリーダーをインストールしてご覧ください。※情報の受信にかかる通信料は利用者負担となります。



選挙 高い志のある人が現れ出ることを期待する!

る。を完了す
でに接種
10月末ま
を発送し、
に接種券
を。に接種



問 一般接種の準備状況と今後の見込みについて問う。
答 集団接種体制を拡大し、職域接種等とも連携を図る。年齢区分等により段階的に接種券を発送し、10月末までに接種を完了する。

医療 高齢者へのワクチン優先接種終了後について
問 一般接種の準備状況と今後の見込みについて問う。
答 集団接種体制を拡大し、職域接種等とも連携を図る。年齢区分等により段階的に接種券を発送し、10月末までに接種を完了する。

問 これからの市政運営を展望される中で五期目の市長選に向けた考えを伺う。
答 市政の発展方向とそれを支える運営体制には連続性と継続性が必要であり、市政そのものには任期はないと考えている。市政方針と市政運営体制を継承し、未来に向けての課題に果敢にチャレンジする高い志のある人が現れることを期待するところでもある。共にまちづくりを担う方々の意見を伺いながら進退について適切に判断したい。

問 市長選に向けた考えを伺う。
答 市政の発展方向とそれを支える運営体制には連続性と継続性が必要であり、市政そのものには任期はないと考えている。市政方針と市政運営体制を継承し、未来に向けての課題に果敢にチャレンジする高い志のある人が現れることを期待するところでもある。共にまちづくりを担う方々の意見を伺いながら進退について適切に判断したい。



自由民主党山口
入江 幸江



都市 南部地域の振興について

性の
機運の
参画し
本市の
性のある

問 今後どのように進めていくのか伺う。
答 市民や事業者など様々な主体にもあらゆる施策に参画していただき、脱炭素の機運の醸成を図るとともに、本市の地域特性に応じた実効性のある取組をしていく。

環境 グリーン社会の実現について
問 今後どのように進めていくのか伺う。
答 市民や事業者など様々な主体にもあらゆる施策に参画していただき、脱炭素の機運の醸成を図るとともに、本市の地域特性に応じた実効性のある取組をしていく。



山口市南部地域
活力アップ推進プラン

問 南部地域発展の今後の方向性について伺う。
答 都市核と地域拠点を結ぶ道路網や光ファイバーなど様々なネットワーク機能の強化、自然の恵みや豊かな暮らしに基づく農林水産物やアウトドアスポーツなどの地域資源の磨き上げにより、新たな人の流れや経済効果が生まれ発展することが今後の方向性と考えている。引き続き都市部も農山村も、共に発展するオール山〇の取組を進めていく。

問 南部地域発展の今後の方向性について伺う。
答 都市核と地域拠点を結ぶ道路網や光ファイバーなど様々なネットワーク機能の強化、自然の恵みや豊かな暮らしに基づく農林水産物やアウトドアスポーツなどの地域資源の磨き上げにより、新たな人の流れや経済効果が生まれ発展することが今後の方向性と考えている。引き続き都市部も農山村も、共に発展するオール山〇の取組を進めていく。



県都創生山口
山下 宏



健康 血液や線虫を用いた新たな取組で、がん検診を!

備に努め
診しやす
視すると
動向を注



問 近年登場してきた血液や線虫を用いるがん検査方法を本市が行う検診や特定健康診査に活用することで、受診率を伸ばしてはどうか。
答 血液を検査する早期がんの新たな検査方法について、国立がん研究センターが昨年12月から乳がん検診受診者三千人を対象とした大規模臨床試験を開始した。当該検査法が実際のがん検診で同等の性能を発揮するのか検査精度の検証が行われている。今後、当該検査法を自治体のがん検診に採用するに当たっての課題として、死亡率低下につながるか等の証拠が必要とされており、全国自治体の協力のもと、長期間にわたる研究を進めるとされている。新たな検査法の実用化に向けた動向を注視するとともに受診しやすい体制整備に努める。

問 近年登場してきた血液や線虫を用いるがん検査方法を本市が行う検診や特定健康診査に活用することで、受診率を伸ばしてはどうか。
答 血液を検査する早期がんの新たな検査方法について、国立がん研究センターが昨年12月から乳がん検診受診者三千人を対象とした大規模臨床試験を開始した。当該検査法が実際のがん検診で同等の性能を発揮するのか検査精度の検証が行われている。今後、当該検査法を自治体のがん検診に採用するに当たっての課題として、死亡率低下につながるか等の証拠が必要とされており、全国自治体の協力のもと、長期間にわたる研究を進めるとされている。新たな検査法の実用化に向けた動向を注視するとともに受診しやすい体制整備に努める。

問 近年登場してきた血液や線虫を用いるがん検査方法を本市が行う検診や特定健康診査に活用することで、受診率を伸ばしてはどうか。
答 血液を検査する早期がんの新たな検査方法について、国立がん研究センターが昨年12月から乳がん検診受診者三千人を対象とした大規模臨床試験を開始した。当該検査法が実際のがん検診で同等の性能を発揮するのか検査精度の検証が行われている。今後、当該検査法を自治体のがん検診に採用するに当たっての課題として、死亡率低下につながるか等の証拠が必要とされており、全国自治体の協力のもと、長期間にわたる研究を進めるとされている。新たな検査法の実用化に向けた動向を注視するとともに受診しやすい体制整備に努める。

問 近年登場してきた血液や線虫を用いるがん検査方法を本市が行う検診や特定健康診査に活用することで、受診率を伸ばしてはどうか。
答 血液を検査する早期がんの新たな検査方法について、国立がん研究センターが昨年12月から乳がん検診受診者三千人を対象とした大規模臨床試験を開始した。当該検査法が実際のがん検診で同等の性能を発揮するのか検査精度の検証が行われている。今後、当該検査法を自治体のがん検診に採用するに当たっての課題として、死亡率低下につながるか等の証拠が必要とされており、全国自治体の協力のもと、長期間にわたる研究を進めるとされている。新たな検査法の実用化に向けた動向を注視するとともに受診しやすい体制整備に努める。



公明党
桜森 順一



行政 スマートシティの推進は地域へどう波及するか



問 個性と安心の21地域づくりへの波及について伺う。

答 中山間地での先端技術の活用による移動・医療等の課題解決を図る挑戦等、様々な取組を進め、都市部を含む全地域に展開させる。推進にあたって地域交流センターの役割が重要になり、災害時の情報通信拠点機能等、スマートシティの拠点となる

と考えている。

教育 カリキュラムマネジメントとコミュニティ・スクール

問 学校と地域をどのように連動していくか伺う。

答 教育課程の再構築に学校・地域双方の強みを生かし、教育・地域課題の解決を促す。学校を子どもと地域住民の学びの拠点に発展させたい。



遺族の方から戦争の生々しい体験談を聞く

行政 今こそ中核市へ！ 総合医療センターを山口市へ！



問 県庁所在地で唯一、本市のみが人口20万人未満のため中核市になれない。人口要件の緩和を国に要望し、早急に中核市に移行すべきだ。

答 権限移譲により様々な行政サービスを市独自で行い、都市としての自主性が高まると同時に相応の財政支出が生じることとなる。まずは中核市にふさわしい行財政基盤と都市基盤の確立が必要であり、国・県に対して財政的な支援措置について支援制度の優先配慮等も要望している。

問 山口県立総合医療センターの建て替えが検討されている。地域の医療機関との連携、県民の来院の利便性を図ることができ、医療・ヘルスケア産業の集積が進む本市への移設を県へ要望すべきだ。

答 情報収集に努め、市の考えを示し対応していく。

※山口県立総合医療センター
防府市大字大崎に所在し、地方独立行政法人山口県立病院機構が運営。

人権 「生理の貧困」の問題は女性の尊厳に関わる問題



問 5月7日に提出した市長への要望で生理の貧困問題に触れ、生理用品の学校のトイレへの設置を求めた。様々な意見もあるが女性全般の、女性の尊厳に関わる問題だと認識すべきである。

答 女性の尊厳を守る取組として、市有施設等への設置拡大を見据えた前向きな検討を求める。

問 市男女共同参画センターにおいて生理用品の購入に困っているという相談があった場合は、生理用品が提供できるよう備え付けを始めるところである。市有施設等への設置拡大は社会的合意形成が不可欠であり、全庁的な取組が必要となるため小・中学校での状況を踏まえ他市の動向も注視しながら研究したい。

その他の質問

○山口市版「持続化支援金」の創設

※生理の貧困
経済的な理由で生理用品を購入できない(してもらえない)女性が増えている。

施設 湯田温泉拠点施設、行政が行う正当性を問う!!



問 独自に行った市民アンケートでは約7割が公共温泉施設は不要と回答された。他市においては、民間温泉があり行政が唯一の実施主体ではないこと、趣味・嗜好の要素が強いこと、住民一人ひとりの生活に必要なものではないこと、維持管理費や修繕費が財政を圧迫することなどを理由に、公共温泉の無償譲渡や閉鎖の協議もされている。つまり、行政サービスとして優先順位が低いとの考え方もあるが、本市において公共が新たに温泉を提供する大義は何か。

答 住みたくなる温泉市街地の形成に向け、このエリアに自由に開かれた公共空間が必要である。老朽化した寿泉荘を市民の求めるバリアフリー等の多様性に対応した公共温泉施設として更新する。



市役所

福祉 いっしょにあそぶ、いっしょにまなぶ

問 すべての子どもが、ありのままに利用できる、発達障がいのある子を持つ保護者が誰にも気兼ねなく子どもの成長を実感できる施設が必要である。YCAMやKDDI維新ホールで開催されるイベントや図書館の利用については、運用面の配慮でも取り組めるかと考えるがいかがか。

答 従来の発達障がい児支援は、日中を基本とした相談体制やサービスを中心に展開してきたが、外出支援という観点を福祉部局のみならず各部局で共有し、支援策について関係部局と協議に入りたい。まずは、市民活動団体との意見交換や関係機関等との協議の場で課題等を共有するとともに様々な視点の意見や要望を伺い、施設所管課や関係機関と外出支援の取組の実現に向けた調整等を図りたい。




公明党
山本 敏昭

やまもと としあき



教育 スクールソーシャルワーカー(SSW)の活用!

問 コロナ禍だからこそ、児童生徒の福祉的支援の強化策として、SSWのより積極的な活用と、教育委員会から各校へ派遣する現在の派遣型から、中学校へ配置し校区内の小学校へ派遣する配置型への転換はないものか問う。

答 SSWの役割は、学校だけでなく例えば生活困窮家庭に対する福祉や医療へのつなぎなどの間接支援、不登校児童生徒に対する登校支援、フードバンク山口と連携した食料支援などの直接支援を担い、その活動は多岐にわたり欠かせない存在である。今後も児童生徒に対する多面的なサポート強化に向けて連携を密にしていきたい。加えて、配置型と派遣型の双方の良さ、課題等を研究し、配置型モデル校の設置も検討していきたい。



子どもと親のサポートセンター「SSW活用マニュアル」より



県都創生山口
坂井 芳浩

さかい よしひろ



農業 人・農地など関連施策の見直し

問 政府は昨年5月から農村政策の在り方を、長期的な土地利用の在り方を検討会で議論され中間とりまとめが示された。これまで質問してきたとおり、農業と他の仕事を組み合わせた半農半X等、農村での所得や雇用の保障が強調されており、地域農業、集落維持を暮らしの議論から始めるべきである。市としてこの見直しをどう捉えるか問う。

答 山口市食料・農業・農村振興プランに掲げる持続可能な農業への仕組みづくりへの取組は、国の施策の見直しと方向性を同じくするものであり、経営規模の大小にかかわらず必要な支援をしっかりと行う考えである。半農半X、地域資源を活用した農山村発イノベーションの推進等、地域の特性に応じた有効な取組を研究していきたい。

※農山村発イノベーション
地域資源を発掘し、磨き上げた上で、他分野と組み合わせる取組。



日本共産党
西村 芳和

にしむら よしかず



福祉 子どもの貧困対策のための推進計画づくり

問 子どもの貧困対策の取組状況について伺う。

答 主にひとり親家庭の小学生を対象として、NPO法人と社会福祉法人への委託による夕食の提供などを通じて居場所を提供する生活支援や、無料の学習会の開催による学習支援事業に取り組んでいる。また、家庭での育児放棄や児童虐待の問題に対し、定期的な訪問により見守る体制を確保している。

問 実態調査を行い、第二期山口市子ども・子育て支援事業計画の一部変更計画として包含する形で、早急に推進計画を策定してはどうか。

答 支援団体等の意見も伺いながらスピード感を持って計画を策定していきたい。




県都創生山口
山本 貴広

やまもと たかひろ



農業 有機農業の振興で安全でおいしい給食を

まっすぐに
と考えるの
で旗の振り
方について
も研究した
い。



答 農家の所得向上につながり、市のブランド力も高まっています。

問 支援ではなく、市が実施主体となって「旗」を振ってこそ、地域を巻き込んで取り組めると思うがどうか。

答 有機農業は多大な労力やコストを要し、難易度も高いが、農産物のブランド化は本市農業の発展に効果が見込まれるため、面的拡大に向けた支援を研究したい。学校給食への活用はコスト面などの課題について研究したい。

問 千葉県いすみ市は有機農業の振興で市全体のブランド化に取り組み、学校給食にも提供され、そのことが農家のさらなる意欲向上にもつながっている。有機農業の振興で安全でおいしい学校給食の提供の実現を求める。



日本共産党
尾上 頼子



子ども ヤングケアラーを見逃すな!

答 ヤングケアラーは、デリケートな家庭内の問題であることや、本人・家族に自覚がないといった理由で、問題が表面化しにくい現状があり、学校、医療・福祉機関、地域や民間団体等との連携により、早期発見し対応する体制と相談環境を整えることが重要である。専用の相談窓口設置も含め検討していきたい。



高島常吉 頌徳碑
(島地小学校隣地に建立)

問 徳地の島地出身の高島常吉は、貧しい家庭で勉強と親孝行に励み家計を支え、14歳の若さで亡くなった。現在、本来大人が担う家事や家族の世話を日常的に行う18歳未満の子ども、いわゆるヤングケアラーの救済は喫緊の課題と考えるがいかがか。



自由民主党山口
田中 勇



協働 地域づくり協議会と学校との連携

の所得向上に努める。



らまえ、農水産事業者が参加できる取組を進め、農業者の所得向上に努める。

答 認定農業者の機械導入補助の拡大、認定農業者を中心とした市場の開催を問う。

問 認定農業者の機械導入補助の拡大、認定農業者を中心とした市場の開催を問う。

答 認定農業者への支援について

問 地域と学校との連携の強化について伺う。



県都創生山口
野島 義正



教育 コロナ禍でも安全安心な学校生活を!

取り組んでいく。



答 修学旅行や部活動等で県外を訪れた児童生徒、教職員等の希望者に検査を実施すること、行事等の自粛による児童生徒の心身の負担を和らげ、安全安心な学校活動の継続に取り組んでいく。

問 小・中学校等へのPCR検査の実施について伺う。

答 本物の学力を身につけ、人間関係づくりを学びながら心身ともに成長する子供たちを支援することが学校のありべき姿と考える。どのよう

問 一斉休業を経て学習面のみではない学校生活の重要性が再認識された。学校のあるべき姿や役割を伺う。



自由民主党山口
馬越 帝介



子育て コロナ禍の中、さらなる少子化・育児支援対策を

産・育児ができる環境を整えていき



問 コロナ禍での出産・子育て、結婚をためらわせるような経済的不安を和らげる必要があると考えるが、市の考えを伺う。

答 本市における令和2年の出生数は1329人で前年から98人減少し、平成17年の合併以降最少となっており、令和3年においてはさらなる減少を懸念している。

子育て世帯の経済的負担の軽減への対応については、妊産婦健康診査費用の公費負担や幼児教育・保育の無償化等を実施している。また本市独自の取組として、不育治療費の自己負担金の一部助成や本年10月からの中学生までの子ども医療費の無料化等、子育て世帯への経済的支援を充実させている。さらなる取組を進め、安心して出



高志会
伊藤 青波



施設 「湯田温泉PARK」で遊び、学び、たまる!

問 多世代交流・健康増進拠点施設整備について、市長の意気込みを伺う。

答 全天候型の市民交流広場として、アソビバ、マナビバ、タマリバの3つのコンセプトを中心に施設の事業展開の検討を進めている。温浴施設の利用料金も、高齢者や障がい者等の外出促進につながる優待制度や子供無料化など、入浴しやすい設定を検討する必要がある。また、ユニバーサルデザインにしっかりと配慮した施設整備を進めていく。

問 整備後の経済効果について考えを伺う。

答 基本設計の中で、新たな交流人口がもたらす経済波及効果など、整備効果や運営効果がチェックできる考え方を示せるよう取り組んでいきたい。




公明党
其原 義信



防災 命を守る避難について

問 警戒レベルの内容変更等で市民が困惑する恐れがあると思うが、どのような周知、啓発を行うのか。

答 様々な広報媒体等で繰り返し丁寧な周知啓発をする必要があると考えている。

問 行政が指定した避難場所、親戚や知人宅、ホテルや旅館への避難や、屋内安全確保、車中泊も必要不可欠な避難行動の在り方ではないか。

答 分散避難等の取組を含む周知、啓発について市ウェブサイトをはじめ市報6月1日号に特集記事を掲載した。

問 防災メールやLINE等への登録者増加の取組、使えない方への対応は。

答 市報や防災講座、防災訓練の機会を利用して周知する。自宅の固定電話に防災情報を発信するサービスを今年度中に開始予定である。




京都創生山口
瀧川 勉



行政 力を合わせて地域の魅力づくり

問 このたび過疎地域の指定を受けた秋穂地域の新たな振興策、方向性を伺う。

答 現在の新山口駅方面からのバス路線を、秋穂荘、中道、秋穂総合支所を経由し新山口駅へ帰っていく経路への変更は考えられないか。

問 過疎対策事業債を財源として、将来的に定住人口につながる海洋交流拠点づくりなどの地域振興事業等の推進や人口転出抑制にもつながる雇用の場の創出など、新過疎法による財政的支援を好機ととらえ、地域と行政が一体となり秋穂地域の人口減少抑制に向けた事業に取り組む。

答 バス路線の変更については、現在の利用者への影響も考慮する必要があるので、地域の実情をしっかりと把握し、より利用しやすい環境に高めていく。

※新過疎法
令和3年4月に施行された「過疎地域の持続的発展に関する特別措置法」の略称。徳地・阿東地域に加え、新たに秋穂地域が指定された。



ふるさと共創やまぐち
富田 正朗



協働 地域づくりにおける、課題の検証!!

地域の社会教育団体の育成に取り組む。

問 各地域の共通の課題である自治会、町内会における役員のなり手不足等に対する市の見解を伺う。また、地域づくりに寄与していた子ども会の衰退について、後方支援などを伺う。

答 高齢化や人口減少、ライフスタイルの変化等に伴い、地域住民の自治会への意識や参画の状況は大きく変化している。担い手不足は喫緊の課題であり、解決に向けた自治会間の情報共有の機会の創出、自治会加入の促進に取り組み、市職員も地域社会の一員としてまちづくりに参加するよう促していく。また、子ども会活動に貢献する子ども会育成連絡協議会の活動の下支えに加え、子ども会の存在意義やその有効性の理解を促すための広報など地域の社会教育団体の育成に取り組む。




ふるさと共創やまぐち
植野 伸一



生活 高齢者や障がい者が安心して暮らせる交通網整備

- **その他の質問**
- 新型コロナウイルス対策
- ▼ 小・中学生に対する給食費支援
- ▼ 飲食・観光とその関連事業者に対する緊急支援
- ▼ 市職員の労働環境

問 市民誰もが快適で容易に移動できる、生活に必要な不可欠な交通網の維持確保、強化について「自宅から停留所までの移動手段がない、バス停を、より病院やスーパーに近づけて欲しい」という高齢者や障がい者の移動に関する不便や不安の声に市はどのように応えるのか。

答 自宅や目的地からバス停留所までの距離を埋めるラストワンマイル対策に取り組んでいく。議員提案のコミュニティバスの停留所の間隔や位置変更、増設等については、要望があれば関係機関と協議調整のうえ適切に対応していく。

※ラストワンマイル
自宅と最寄りの停留所、駅までの道のり・区間のこと。



自由民主党山口
湊 和久



定住 新たなアイデアで空き家を交流の場に!

住みながら、交流の取組について、交流促進空家活用事業の今年度の取組の特色と期待している効果について伺う。

問 空き家を活用した新たな交流の取組について、交流促進空家活用事業の今年度の取組の特色と期待している効果について伺う。

答 事業経費の自己負担部分の調達についてクラウドファンディングの募集額に条件を設けず、その手数料の20万円を上限に補助する。また、空き家の確保前での応募を可能として採択後の補助金を交付までの確保を要件とし、募集期間を延長して応募機会を増やした。公開プレゼンテーション(審査会)会場である産業交流スペースメグリバの起業創業支援機能が、採択後の支援につながることも特色の一つである。採択された事業が創意工夫によって継続し、地域への好影響や活性化が地域の魅力向上、移住定住につながることを期待している。

山口市移住情報「住む住む山口」

 (市ウェブサイト)



地域政党 やまぐちの風
竹中 一郎



行政 過疎地域の持続的発展

本年4月に施行された過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の目的の受け止めと今後の支援策を伺う。

問 本年4月に施行された過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の目的の受け止めと今後の支援策を伺う。

答 これまで過疎地域の自立に取り組んできたが、いまだ諸課題が残る状況である。地域内外の多様な主体が地域を支え合い、自主的、主体的かつ持続的に課題解決に取り組む地域社会を形成するとともに、豊かで特色ある資源を活用した地域活力の向上を図る取組が過疎地域の持続的発展と受け止めている。こうしたことから、地域資源等を活用した様々な取組に過疎対策事業債などの支援措置を活用して、将来的に非過疎地域になることを目指して、ふるさとにぎわい計画をはじめとする地域の特性を生かした諸施策を展開する。




市民クラブ
山見 敏雄



ようこそ議場へ

児童期待時間

白石小学校
6年生が見学



模擬議会開催

白石小学校6年生121名が市議会議場を訪れ、新型コロナウイルス感染症対策をとりながら、前半・後半の2グループで議会体験を行いました。市長からは、新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、「小学校の授業をリモートで行うこと」が提案されました。

議長
市長からの説明が終わりました。それでは、議員の皆さん、質問はありませんか。

議員からは、疑問点や問題点などたくさん質問が行われ、答弁者からはリモート授業を実施するための対策など、しっかりとした答弁が行われました。最後に議長から賛成議員の起立を求め、2グループとも賛成多数で可決されました。昨年は一斉休業により小学校も休校となりましたが、児童一人ひとりがその経験をもとに真剣に考えて意思を表しました。

短い時間ではありましたが、この体験を今後の学校生活で生かしてもらいたいと思います。

コロナ感染をよぼうするため、小学校の授業をリモートで行うことを提案したいと思います。

テストはどのような方法で行うのですか？

低学年の児童は、一人でタブレット操作ができない子もいると思いますが、どうしたらよいですか？

(議員に質問)
女性議員は何人いますか？

ぼうちょう席にいて、実際に本当の議会を見たいなと思いました。

(議員に質問)
議長が欠席したときは誰が代わりをするんですか？

私たちも、山口をどのようにすればいいかを考えていきたいと思いました。

※子どもたちの声は、後日、届いたお礼状（感想文）などから引用しました。写真の児童とは連動していません。



脱炭素社会の実現に向けた意見交換

中国電力株式会社の方をお招きし、2050年までに二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出量から、森林などによる吸収量を差し引いて実質ゼロにする「2050年カーボンニュートラル（脱炭素社会）」の実現に向け、意見交換を行いました。また、エネルギー基本計画やエネルギーのベストミックス、災害時の対応、再生可能エネルギーの取組事例などについて説明をいただきました。

日本のエネルギー自給率は約11.8%で、海外からの化石燃料（石油・石炭・天然ガスなど）の輸入に頼っているのが実情です。2050年カーボンニュートラルは非常に挑戦的な目標であるため、再生可能エネルギー開発の技術革新のほか、市民にも節電意識を持ってもらう必要があります。安定した電力供給には、安全性を大前提としたうえで原子力発電の計画的な活用も重要であるとのことでした。



赤妻2号雨水貯留施設内部の様子

5/10 生活環境委員会

赤妻2号雨水貯留施設建設現場を視察

近年のゲリラ豪雨などによる浸水被害の軽減を図るため、湯田地域における対策として、赤妻1号雨水貯留施設や朝倉雨水調整池に続き、赤妻2号雨水貯留施設が建設中です。完成後は施設内に入って内部構造等を確認することが難しくなることから、地下の雨水貯留部分を埋設する前に建設現場を現地調査しました。

有効貯留量は約8,000立方メートル（25メートルプール約20杯分相当）と市内最大の地下埋設型施設です。施設面積約3,200平方メートル（約60メートル×約54メートル）の施設上部の更地の有効活用に、今後、取り組んでいきます。

タブレット端末の更新等に関するワーキンググループ会議を設置



議会活動の効率化と議員活動のさらなる充実、活性化を図るために、議員へのタブレット端末機器の貸与とペーパーレス会議システムを導入して約2年半が経過しました。

この間、これまで紙が主流であった各種会議資料がデータ化されたことにより、紙資源の節減、印刷経費の削減とともに、円滑な会議運営が図られてきましたが、タブレット端末の機能をさらに活用するためワーキンググループを新たに設置しました。

グループリーダーを中心に自由闊達な議論を進め、議員の質問力や調査研究能力の向上にもつなげていきます。

- グループリーダー
村上 満典
委員 入江 幸江
山下 宏
其原 義信
宮川 英之
伊藤 青波
大田たける
野村雄太郎

「山口市議会条例立案等 調査研究会」を設置

議会として政策立案及び政策提言を積極的に行っていくために、山口市議会条例立案等調査研究会を設置しました。

現在、『手話言語条例』を検討テーマとして条例立案等に向けた調査・研究を進めています。

- 座長 入江 幸江 副座長 其原 義信
委員 坂井 芳浩 山本 貴広 中野 光昭
氏永 東光 尾上 頼子 部谷 翔大

議会改革を進めています ～わかりやすく開かれた議会に～

タブレット端末で 動画活用を試行

3月定例会に引き続き、本会議の一般質問において、質問者の説明を補完するため、試験的に音声なしの動画を映しました。動画は会議録には残らないため、どう取り扱うかなど今後の課題もありますが、市民のみなさんにとって、わかりやすい質問となるよう本格運用に向け協議を進めていきます。

- 委員会の構成に変更がありました
予算決算委員会 委員長 其原 義信
議会運営委員会 委員 伊藤 青波
新本庁舎の建設等に関する調査特別委員会
委員 伊藤 青波

議会の主な動き



4月

- 5日 市議会だより等編集委員会
- 9日 第87回山口県市議会議長会定期総会
- 12日 会派代表者会議
- 13日 市議会だより等編集委員会
- 19日 議会運営委員会
- 26日 第2回臨時会



コミタク良城の実証運行がスタート

5月

- 10日 会派代表者会議、生活環境委員会行政視察
- 31日 会派代表者会議、議会運営委員会、執行部説明会、広報広聴委員会



今年は一ピロウンカ対策を



令和3年成人式(5月4日)

6月

- 7日 第3回定例会初日(～6月28日最終日)
- 8日 議会運営委員会、会派代表者会議
- 14日 市議会だより等編集委員会
- 17日 議会運営委員会、条例立案等調査研究会
- 24日 議会改革検討協議会
- 28日 議会運営委員会、執行部説明会、市議会だより等編集委員会、広報広聴委員会、タブレット端末の更新等に関するワーキンググループ会議



7市町の各会場でイベントを開催

編集後記

KDDI維新ホールオープンに続き、山口ゆめ回廊博覧会の各種イベントが開催中。新しい時代の山口市づくりに向け、様々な仕掛けにどんなドラマが展開されるか、ワクワク、ドキドキしています。(中島)

読んでみたくなる紙面づくりにチャレンジして7年が経過しましたが、一向に上達しません。毎回悩むのがレイアウト、見出し、文章表現。日頃使わない語彙や言い回し、もちろんカタカナ言葉の解説等、まだまだ学ぶところが多しです。(貴広)

次回定例会日程のお知らせ

(予定)

陳情の受付…8/25(水)まで 請願の受付…9/1(水)まで

日	月	火	水	木	金	土
9/5	6	7	8	9	10	11
	本会議(初日) 10:00～					
12	13	14	15	16	17	18
	本会議 10:00～(一般質問・質疑)	10:00～17:00 ケーブルで生中継		本会議終了後 予算決算委員会		
19	20 敬老の日	21	22	23 秋分の日	24	25
			予算決算委員会 10:00～			
26	27 教育民生委員会 10:00～	28 教育民生委員会 10:00～	29 総務委員会 10:00～	30 総務委員会 10:00～	10/1	2
	生活環境委員会 10:00～	生活環境委員会 10:00～	経済建設委員会 10:00～	経済建設委員会 10:00～		
3	4	5	6	7	8	9
		予算決算委員会 10:00～		本会議(最終日) 10:00～		

会議日は傍聴ができます。

議会の内容をウェブでご覧いただけます

● 山口市議会ホームページ
<http://www.yamaguchi-gikai.jp>

● インターネット録画中継
<http://cstream.c-able.ne.jp/yamaguchi-gikai/m/>



ご感想をお寄せください

議会や市議会だより、ホームページ等をご覧になったご感想やご意見をお寄せください。

住所：〒753-8650 山口市亀山町2番1号
電話：083-934-2854 / FAX：083-934-2658
メール：gikai@city.yamaguchi.lg.jp
あて先：山口市議会事務局「議会の感想」宛て

【表紙写真】

4月14日、地元の幼稚園児・保育園児と小・中学生が榎野川漁協から提供された5千匹のアユの稚魚を仁保川に放流しました。「みんなの力できれいな川をいつまでも」を合言葉に「元気に大きく育ててね」と願いも込めました。

市議会だより等編集委員会

委員長 倉重 浩 副委員長 大田たける
委員 泉 裕樹・湊 和久・中島裕一・野島義正
山本貴広・山本敏昭・植野伸一・氏永東光
野村雄太郎

次号は 11月15日です